



てらるる



2023年
9
No.909

■発行所 ■
日本福音ルーテル教会事務局広報室
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 1-1
電話 03-3260-8631

■ウェブサイト ■ <https://jelc.or.jp/>
■E-mail ■ jelc@jelc.or.jp

■発行人 ■ 竹田大地 koho@jelc.or.jp
■印刷人 ■ 精文堂印刷株式会社
■定価 ■ 1部 40円(郵税を含む)
■振替口座 ■ 00190-7-71734

説教 「人を赦すということ」

秋山仁(日本福音ルーテル豊中教会・神戸東教会牧師)

「あなたがたの一人一人が、心から兄弟を赦さないなら、わたしの天の父もあなたがたに同じようになさるであろう。」
(マタイによる福音書18:35)



「十字架上のキリスト」バルトロメ・エステバン・ムリーヨ作

「主よ、兄弟がわたしに對して罪を犯したのなら、何回赦すべきでしょうか。七回までですか。」というペテロの問いは、自分が誰かを赦すなら、どれだけ赦すべきかが焦点です。

それに対してイエス様の答えは、赦されたいと願うならば、赦すことをせよ、というものです。ペテロの立場はあくまで、自分が赦す側であり、赦される側にはいません。赦すか赦さないかを決めるのは自分になります。しかし、イエス様がたとえで答えたと同時に問うているのは、あなたは赦される立場にはいないのかどうかです。

ここで、私が思い出すのは、姦淫の罪で女性を告発した人々とファリサイ派に對してイエス様が投げかけた質問です。「あなたたちの中で罪を犯したことの無い者が、まずこの女に石を投げなさい。」

そして、人々が去って行ったあとでイエス様は女性に向かつていいます。「わたしもあなたを罪に定めません。行きなさい。これからは、もう罪を犯してはならない。」罪の告発と断罪をするときに、自分を省みる事が問われています。たとえに登場する王の最終的な怒りは、負債を抱えていた家来が、王から憐れみをかけてもらいながらも、自分は仲間の一人に憐れみをかけることもなく、無慈悲な仕打ちを行うことで引き起こされる

「十字架の上のキリスト」バルトロメ・エステバン・ムリーヨ作

知っていることを知っています。家来も、本来ならその借金を返さなくてはならないところから、すべては始まります。つまり、借金を罪と言ひ換え

れば、罪を犯している人間が、罪を罪として認めることがなければ、赦しも起こらないのです。赦すとは、負債や罪をお互いが認めたうえで、反省している相手の立場をよくよく考えて、自分もリスクや痛みを引き受けることから始まるのです。さもなければそれはただの我慢にしかありません。ペテロの立場に戻ってしまうのです。あるいは相手に對してよほどの優越感を持つとうとするかです。でもそれでは無理が生じます。そして、何かの形で、自分の人生がその後も怒りや恨みといった不快な感情に支配されてしまうことになりかねません。

自分に対して不正を行ったり、罪を犯した者を赦すことが、自分自身で出来るかどうかは、判りません。しかし、自分自身がそうした負の感情から癒され、解放され、自由にされることは必要です。

負の感情から癒されるためには、私たちはイエス様に祈ることと共に、具体的な助けを与えてくれる仲間を必要とします。

「今年初め家族の者は亡くなりました。生前のお交りありがとうございました。」

「見慣れない名前の方から一通の手紙が届きました。まただ…。病院で知り合った友達が多い私は「あの人大丈夫かな?」と思いつつ、郵便を出すことも少なくありません。メールを送るときも少し送る期間があいてしまうとメールを送るのが怖くなってしまう。

私/あなたが「心から無限に赦し、愛して下さるイエス様がおられます。私/あなた自身の罪を赦すために、十字架に架かられたイエス様がおられます。私/あなたを「心から」受け入れ、支え、守り、励まして下さるイエス様がおられます。

人が自分の罪と向き合い、赦しを請い、またそれを赦し合うことの背後に、このイエス様による憐れみと赦しがあることを覚えていたいと思います。

自分に罪を犯した相手に對する怒り、痛み、悲しみ、恨み、わだかまりなどを、聴き、受け止め、その負担を担い合つて、時には執り成し祈ってくれる仲間の存在。その手助けのもとに、私/あなたが負つてしまつた心の重荷を軽くできるとき、私たち一人一人は、「私に罪を犯した者」と向き合うことが出来るいくし、その罪を赦すことが可能になるのかもしれない。少なくとも自分自身が負の感情に支配されない勇気をもつことが出来るのかもしれない。

私/あなたが「心から無限に赦し、愛して下さるイエス様がおられます。私/あなた自身の罪を赦すために、十字架に架かられたイエス様がおられます。私/あなたを「心から」受け入れ、支え、守り、励まして下さるイエス様がおられます。

「しかし神は、『愚かな者よ、今夜、お前の命は取り上げられる。お前が用意した物は、いつたいたれのものになるのか?』と言われた。」

ルカによる福音書12:20

「今年初め家族の者は亡くなりました。生前のお交りありがとうございました。」

「見慣れない名前の方から一通の手紙が届きました。まただ…。病院で知り合った友達が多い私は「あの人大丈夫かな?」と思いつつ、郵便を出すことも少なくありません。メールを送るときも少し送る期間があいてしまうとメールを送るのが怖くなってしまう。

私/あなたが「心から無限に赦し、愛して下さるイエス様がおられます。私/あなた自身の罪を赦すために、十字架に架かられたイエス様がおられます。私/あなたを「心から」受け入れ、支え、守り、励まして下さるイエス様がおられます。



伊藤正奈

「一日神学校」

2023年度 9月23日(土) 10:00-12:00

「神学校」

日本ルーテル神学校 | ルーテル学院大学

改 宣 教 室 5

小泉基 宣教室長
(日本福音ルーテル
札幌教会牧師)

宣教の現場に生きる方々との出会いを願うこのコラム。第1回目は札幌教会の柳下李裕理さんにご登場いただきました。
—昨夏、韓国の青年たちとの出会いのプログラムに参加されたのですか。
柳下李 はい、韓日和解と平和フォーラムという、韓国と日本の青年を対

象とした歴史認識の学習、社会構築の展望を広げる交流プログラムです。
—特に印象に残ったことは？
柳下李 DMZ非武装地帯に特別に立ちいらせていただいたことです。一見すると草木が生い茂るのどかな川縁の居住地に無数の地雷が埋まっております。除去に200年を要するという衝撃的な事実を知りました。街中にも私よりも若いような青年たちが軍服を着て歩いており、朝鮮半島が「休戦中」である現実を再確認しました。と同時に、その現実には日本が加担している加害者意識をも感じました。また、ソウルの「戦争と女性の人権

博物館」で、日本軍による性暴力被害者のハルモニたちの言葉を目にしました。あまりに凄惨な現実には衝撃を受けました。
—韓国の青年たちはいかがでしたか？
柳下李 韓国からは様々な活動にかかわる方々が参加しており、日本からの参加者と意識の違いが浮き彫りとなる場面も多かったです。私自身も含め日本福音ルーテル教会の若い信徒における社会問題への当事者意識の弱さが露呈したと感じます。

—今回の経験から、ご自身の中に変化を感じられましたか？
柳下李 在日韓国・朝鮮人と日本人の間に生ま

れた人間として、改めて私自身のルーツをもつて韓日の和解に貢献できるのではないかとという意識が生まれました。
—今夏は韓国の青年たちが日本に来られるのですか？
柳下李 はい、昨年は韓国の方々に大変温かく受け入れていただきました。今年度はその恩返しにも兼ねてホスピタリティを發揮したいと思います。

—大切にしておられる言葉があれば教えてください。
柳下李 「あなたがたを襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはず。神は真実な方です。あなたがたを

を温かく迎え入れてくれました。ユースと過ごす時間が多かったのですが、今回出会ったユースとは教会生活の話だけでなく、趣味や文化の話を通してお互いを知ることができました。

私は過去にカンボジアのルーテル教会を訪れた際、カンボジアにも神の教えが息づいている」と感動したことがあります。その時と同じことを感じました。他宗教のイメージが強いアジアの各地域から多くの参加者が集め

られたこと、彼ら一人一人がルーテル教会の一員としての働きに誇りを持っていること、ルーテル世界連盟の働きの大きさ、これがすべて神の計画の内にあることに、ただただ「すごい」の言しか思い浮かびませんでした。

9月のアセンブリーにて神の計画のうちにあつて選ばれることを祈りつつ、皆さまのご支援とお祈りに感謝申し上げます。それこそ祈りから働きもお祈りください。

試練から逃れることを良しとする文言が心に響きます。
—ありがとうございます。活躍を祈っています。

—あなたがたを襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはず。神は真実な方です。あなたがたを

耐えられないような試練に遭わせることはなさらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えていくべきです。」
—コリントの信徒への手紙10章13節
試練から逃れることを良しとする文言が心に響きます。

—ありがとうございます。活躍を祈っています。

アジア・プレ・アセンブリーに出席して

本間いぶ紀
(日本福音ルーテル
甘木教会)

2023年6月14日から18日、ルーテル世界連盟のアジア・プレ・アセンブリーがマレーシアのクアラ Lumpur で開催されました。ルーテル世界連盟は世界各国に広がるルーテル派教会が集まり、私たちの信仰の実践として人道支援や開発支援、また神学研究を行う組織です。このプレ・アセンブリーは9月にポー

ランドのクラカウで開催予定の第13回ルーテル世界連盟アセンブリーに向けての事前集会で、私は特にユース部門の代表者候補の推薦を受けるために参加しました。9月のアセンブリーの選出選挙にアジア代表として推薦されます。

プレ・アセンブリーには、6月16日、17日の2日間のみ参加しました。そこで出会った方々は、短い時間しか参加することができない私のこと

を温かく迎え入れてくれました。ユースと過ごす時間が多かったのですが、今回出会ったユースとは教会生活の話だけでなく、趣味や文化の話を通してお互いを知ることができました。

私は過去にカンボジアのルーテル教会を訪れた際、カンボジアにも神の教えが息づいている」と感動したことがあります。その時と同じことを感じました。他宗教のイメージが強いアジアの各地域から多くの参加者が集め

られたこと、彼ら一人一人がルーテル教会の一員としての働きに誇りを持っていること、ルーテル世界連盟の働きの大きさ、これがすべて神の計画の内にあることに、ただただ「すごい」の言しか思い浮かびませんでした。

9月のアセンブリーにて神の計画のうちにあつて選ばれることを祈りつつ、皆さまのご支援とお祈りに感謝申し上げます。それこそ祈りから働きもお祈りください。

—あなたがたを襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはず。神は真実な方です。あなたがたを

—あなたがたを襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはず。神は真実な方です。あなたがたを

—あなたがたを襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはず。神は真実な方です。あなたがたを

—あなたがたを襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはず。神は真実な方です。あなたがたを

—あなたがたを襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはず。神は真実な方です。あなたがたを

—あなたがたを襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはず。神は真実な方です。あなたがたを

—あなたがたを襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはず。神は真実な方です。あなたがたを

—あなたがたを襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはず。神は真実な方です。あなたがたを

—あなたがたを襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはず。神は真実な方です。あなたがたを

—あなたがたを襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはず。神は真実な方です。あなたがたを

—あなたがたを襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはず。神は真実な方です。あなたがたを



アジア各地からの出席者共々

世界の教会の聲

浅野直樹 Sr.
(世界宣教室
市ヶ谷教会・スミ教会牧師)

ルーテル世界連盟以下LWFアジアのプレ・アセンブリーが、6月14日〜18日にかけてマレーシアのクアラ Lumpur で開催されました。今年9月、ポーランドの都市クラカウで行われるLWFアセンブリー（総大会）に向けて開かれました。まずは地域ごとに集まり、アジアのルーテル教会の信仰の一致と宣教課題を確認し、ステートメントを発信

するための集会です。JELCからは甘木教会の本間いぶ紀さんが部分参加しました。本間さんは、プレ・アセンブリーで次期総会期の青年代表理事候補としてノミネートされました。今回採択されたメッセージでは、多民族、多宗教社会における公共空間と信仰の自由に関して、教会がなすべき役割について焦点が置かれました。

ステートメントは、「アジアは複雑な状況と現実を抱える大きな大陸であるが私たちが協力していくうえでこのことは障壁はならず、むしろダイナミックな収束点となつていることを神に感謝する。」「固い絆の交わりの精神とディアコニアと平和への決意で、地域と世界のコミュニケーションの未来に向けて、心をつとす」といったメッセージが採択されました。

集まったアジアの教会指導者たちは、アジアの教会が直面する様々なレベルの抑圧に対して深刻な懸念をステートメントとして表明しました。「政府による締め付けは言論の自由を妨げ、抑圧を強め、正当な懸念であるはずの反対の声を排除しようとしている。こうした政策が自由な信仰生活を妨げ、人権を侵害している。」

ステートメントは、神学教育の重要性とそ

「全国の教会・施設から」④

日本福音ルーテル 帯広教会

日本福音ルーテル 帯広教会役員会 今日に至る帯広教会の歴史は、1945年に浦幌町に入植者として入った吉田康彦(やすなり)牧師による「浦幌・池田開拓伝道戦後の全国レール開拓伝道計画による釧路帯広二つのルートがあります。釧路教会、池田教会の礼拝堂は惜しまれつつもすでにありませんが、帯広教会での主日礼拝、釧路家庭集会、会場をお借りしての浦幌集会を定期的に開催しています。この4月からは教区の宣教体制の変更に伴い、主日礼拝は毎週土曜日の午前10時に変更となりました。日曜日に主日礼拝が行われない珍しい教会ではありますが、二人独りの信仰の養いや宣教の意欲は失っていません。礼拝後のお茶の交わりや花壇のお世話も楽しく取り組んでいます。



釧路家庭集いで

り会場として駐車場を開放し、地域の方々と交流をすることができました。また、遠隔地に点在する教会に連なる仲間たちとの交流を目的として野外礼拝なども行っています。これに加え、牧会的な部分にも信徒が積極的に関り、相互訪問や寄せ書きなどを送る活動に取り組んでいます。対面での交流が難しい時も、祈りに覚え合うことで励まし支え合ってきました。

地方の小さな教会で高齢化の波も押し寄せ、将来の見通しも決して明るいとはばかりではありませんが、がいま与えられている恵みに感謝し、自分たちに何ができるかを祈り求めつつ、小さな働きをコツコツと続けています。その中でも、「わかちあいプロジェクト」の古着支援「ちかちゆう給食活動」への支援物資送付「喜望の家」「まきはの家」など遠くにあつても神様の働きを担われている方々を覚えての活動は、恵みをわかちあう喜びに満たされ、今後も継続していきたいと願っています。また、秋には十勝の恵みを全国の皆さまへお届けする「十勝豆」の働きがあり、あらためて全国の皆さまによつて道東宣教が支えられていることを実感し感謝しています。

九州ルーテル学院大学

松本充右

九州ルーテル学院大学学長 アメリカ人宣教師であるマーサ・B・エカード初代院長によつて本学院の前身である九州女学院が創立され、1900年という大きな節目を2026年に学院は迎えます。感恩奉仕の校訓を大切に、またタキリスト教精神に基づいた豊かな人間性を育む教育を、教職員協力のもとでこれまで行ってきました。大学としては九州女学院短期大学を改組転換し、1997年に男女共学の四年制大学「九州ルーテル学院大学」として開学した新しい大学です。現在、人文学部に人文学科3専攻(キャリア・イングリッシュ専攻、保育・幼児教育専攻、児童教育専攻)と心理臨床学科という2学科が設置されています。全学生数650名ほどの小規模私立大学であるため、教職員と学生の距離が近く、一人一人の学生を尊重し、少人数での手厚い教育と高い進路決定率(2023年3月の卒業生の今年7月時点での進路決定率は99.4%)の大学として、地元熊本では現在一定の評価を得る大学となっています。

また、学院の校訓である「感恩奉仕」の精神に基づき、神と周りの人々へ感謝

の気持ちを持ち、地域社会や周りの人々に奉仕できる人材を育成することを目標としています。その目標を実現するため様々な体験学習を重視しており、在学中に多くの学生は地域の学校・社会での様々な活動に関わっています。地域の小学校での放課後見守り支援活動、障がいを持った子どもと親への療育支援活動など学生たちは自発的かつ積極的に地域での活動に参加しています。在学中のこのような体験活動を通して、学生たちは地元への愛着や地域を抱えている課題を直接的かつ体験的に学んでいるように感じられます。

地域社会と緊密につながりつつ、卒業後、地元熊本に貢献できる人材の育成を行ってきた結果、学生の卒業後の進路先は圧倒的に熊本県内が多くなっています。今年3月の卒業生の卒業後の進路の内訳を見ると、卒業生全体の84.2%が熊本県内で就職をしていますが、このように地域に根ざし、地域のために貢献できる人材を育成する元全地域密着型の大学が九州ルーテル学院大学の特徴です。



九州ルーテル学院大学校舎

「教会讚美歌 増補」解説

解説④ 増補44番

「くらしよ空の鳥」 井上栄子

息子が、カトリック系の中高貫男子校へ入学した関係で、生徒のためのミサに参加した時のことです。聖歌斉唱の場面で、ティーンエイジャー男子の賛美に期待していなかった私は、腰を抜かすほど驚きました。会場が揺れるかと思われ、声が響き渡ったのです。その聖歌が「くらしよ 空の鳥」でした。優しく、心温まる歌詞

「平和の祈り」 北川逸英

この歌は、ルーテル学院大学・神学校聖歌隊の愛唱歌です。聖歌隊は親しみを含めて「聖フランシスコの平和の祈り」の短縮形です。しかし今回の歌集のどこにも「聖フランシスコ」の名前はありません。それはこの「平和の祈り」が、聖フランシスコが書いた物ではないことが、20世紀後半に明らかにされたからです。藤女子大学の木村晶子教授が『人間生活学研究第15号』に「アッシジの聖フランシスコの『平和の祈り』の由来」を論文発表されています。論文は藤女子大学のご厚意によりダウンロードができます。



本論文によると、この祈りは20世紀はじめにフランスで生まれたと考えられます。それが第1次、第2次世界大戦を通じて、世界中に広まっていき、論文の終わりを木村教授はこう結ばれています。「作者は不明のままであるかもしれないが、この『平和の祈り』はキリスト教の本質を短く単純に表現し、時代を超えて唱えられる素晴らしい祈りであることに変わりはない」アッシジのフランシスコを熱愛する私も、まさにこの言葉の通りであると、心から感謝します。

エキクメニカルな交わりから

⑱カルト問題キリスト教連絡会

滝田浩之

2018年にカルト問題キリスト教連絡会に日本福音ルーテル教会からの派遣委員として参加しています。カルト問題キリスト教連絡会は、日本基督教団、カトリック中央協議会、日本聖公会、日本福音ルーテル教会、日本バプテスト連盟、在日大韓基督教教会によつて、統一協会問題キリスト教連絡会が発足したことに

端を発しています。連絡会は3カ月ごとに参加団体の代表者が集まり情報交換をしつつ、韓国において同じ関心を持つグループと隔年で研修会を開催しています。「カルト問題」は、年々、巧妙かつ複雑になっており、個人が特に大学などで被害に遭うというケースのみならず、日本の伝統的なキリスト教会の乗っ取りといった事例まで発生しています。高齢化した教会に、とても熱心な青年として数名で礼拝に参加し、会員の方の信頼を得たところ

ろで役員などになり、教会の牧師は正しいキリスト教を伝道してはいないという理由で追い出してしまうのです。個々の教会で宗教学者などをサポートしています。教会が分裂してしまうだけでなく、財産がすべて「カルト教団」のものになってしまふこともあります。是非、「カルトって知ってますか?」というカルト問題キリスト教連絡会が出版するパンフレットを活用していただきたいと思えます。これはカルトについての全般的な学びに適しているとともに、別刷りで最近活版に

活動しているグループの名前と具体的な活動例が紹介されています。社会貢献活動(地域ごみ掃除や高齢者支援)のような形で学生や青年を集めて、いつの間にか、そのようなグループの一員となつていくケースは後を絶ちません。旧統一協会の問題が再度クローズアップされてからは、日本基督教団が専門の窓口を設けて「カルト問題」に対して積極的に活動してくださっています。何か、困ったことなどがあれば、その窓口にお問い合わせをして頂きますと専門家につながります。ご活用ください。

※詳しくは<https://uccj-c.org/>をご覧ください。

九州教区「平和セミナー」 「いのりの紡ぎプロジェクト」開催

谷口美樹
九州教区社会・奉仕部・
日本福音ルーテル
大江教会(会員)

2023年7月17日
(月・祝)、長崎に40人の
兄弟姉妹が集まり、九
州教区社会・奉仕部主
催の「平和セミナー」が
行われました。

午前の部は、長崎平和
公園に一同が集まり、各
教会で作成した「いのり
カード」と「千羽鶴」を折
鶴の塔に捧げました。こ
れは、世界平和への道の
りの中で、私たちにでき



2023年7月17日 九州教区平和セミナー 日本福音ルーテル長崎教会



るの「みんなで祈りを
合わせる」という社
会・奉仕部全員の思いか
ら生まれたものです。5
月7日からスタートした
「いのりの紡ぎプロジェクト」は、各教会の一人お
一人が折りカードを書
き、鶴を折り、隣の教会
に平和の祈りを紡いでい
くものです。最終的に集
まった704人のいのり
カードと折り鶴を二つに
繋ぎ合わせていく中で、
神様の恵みが溢れている
ようで、胸がいっぱいにな
りました。

午後の部は、長崎教会

を会場に「山脇佳朗さん
の被爆体験『忘れられな
いあの日』と題して、廣
瀬美由紀さん・長崎教会
会員に講演をしていただ
きました。廣瀬さんは、交
流証言者の一人として、
山脇佳朗さんの被爆体
験を語り継いでおられま
す。廣瀬さんが心を込め
て再現していかれるお話
は参加者の心に響き、改
めて戦争の悲惨さと平和
の大切さを考えさせられ
ました。閉会礼拝での小
泉嗣牧師のお話と会堂
に響きわたる讃美歌に元
気をいただき、平和への思
いを新たにしながら会堂
を後にしました。

満たされた交流会

立山忠浩
(日本ルーテル神学校
校長・日本福音ルーテル
都南教会(牧師))

聖公会神学院と私た
ち神学校の交流会が7
月3日に開催されまし
た。毎年開催されている
催しですが(2020、
2021年は中止)、今
回は私たちが用賀を訪
ねました。こちらからは
15名(学生9名、教師6
名)が参加。

自己紹介の後、神学生
の3名が(ルーテルから
2名)召命観について語
り、それを受けて学生と
教師に分かれての意見
交換となりました。学生
たちの間で互いの召命観
を聞き合うことが意外
に少なく、意義深い会と
なりました。

教師たちは互いの教
会と神学校の実情を分
かち合いました。聖
公会は西(京都)と
東に二つの神学校
を持つていますが、
今年度は両校合わ
せて1名の神学生
しかいないとのこと
と。私たちの神学校
だけが学生不足に
悩んでいるのではな
いことを改めて確
認することになり



ました。その他、牧師の
現任教育のための神学
校の貢献についても語り
合いました。神学院は宿
泊可能な設備を有して
おり、定期的な研修会の
企画に意欲的に取り組
んでいることは有益な情
報でした。

教室、図書館、礼拝堂

そして寮と食堂も見学さ
せていただきました。20人
ほどは生活できる寮です
が、1名の神学生は家族
寮で生活をしているとの
ことでした。食堂は学生
だけでなく、学内で働き、
また生活している教職員
のためにも昼と夜の食事
を提供しているようでした。
少人数ですから経営
的には厳しいはずですが、
業者と提携しながら何
とか維持しているのです。
そこに聖公会の底力を見
る思いがしました。聖餐
礼拝の後、その食堂で夕
食をご馳走になり、様々
な意味で満たされて神学
院を後にしました。

一日神学校。4年ぶりのキャンパス(対面)開催!

宮本新
(ルーテル学院大学
教員(牧師))

今年の一日神学校は、
9月23日(土・祝)にルー
テル学院大学を会場に
対面開催で行われます。

テーマは、「キリストの
心を心とする」関東大
震災100年と「ディアコ
ニア」。今から100年前
の9月1日に発生した
関東大震災は、当時の日
本社会が体験した未曾
有の災害でした。九州か
ら東京へと宣教活動を
展開していたルーテル教
会も被災し、また「救援
活動」に参画すること
になります。そこでの活動
がディアコニアであり、や

が二つの社会福祉事業
へと結ばれていきます。
メインプログラムのシ
ンポジウムでは、今年1
00周年を迎える東京
老人ホームとベタニヤ
ホームからシンポジスト
を迎え、ルーテルの社会
福祉、ディアコニア、そし
て「キリストの心」につ
いて振り返り話し合うひ
とときを持ちます。

このたびの一日神学校
は、キャンパスに皆さま
を迎えるの対面開催を
もう一つのテーマにし
ています。チャペルでの開
会礼拝(午前9時30分
開始)、またキャンパス内
でミニショップを再開し
ます。どれもこれも20
19年以來のことであ

り、とても楽しみにして
います。ただし、依然と
して感染対策に慎重を
期するため半日開催
としています。再会の喜
びに併せて、安心安全の
うちに集うことを願
い、お待ちしております。その他、
プログラム全体の案内・
ポスターにつきましては、各教会にご案内をお
送りしますのでそちら
をご覧ください。



キリストの心を心とする
〜関東大震災100年とディアコニア
〜

一日神学校

2023年度
9月23日(土・祝)
開始9時30分 終了13時30分
- 対面開催 -
開会堂礼拝
シンポジウム
「関東大震災100年とディアコニア
〜東京老人ホームとベタニヤホーム〜
交わりのひととき-各教会のミニショップ-